

**南部地域の学校跡地に関する  
個別活用計画（素案）について**

**（答申）**

令和3年(2021年)1月

豊中市公共施設等有効活用委員会



## 目次

I. 答申にあたって	1
II. 南部地域の学校跡地に関する個別活用計画(素案)への意見	2
III. 審議経過・審議会委員	4

### <参考資料>

- 南部地域の学校跡地に関する個別活用計画(素案)

## I. 答申にあたって

豊中市南部地域は、昭和 45 年（1970 年）をピークに人口が減少に転じ、現在も人口減少、少子高齢化は進むとともに、生活・学習課題を抱える子どもの支援や公共施設の老朽化対策など、新たな課題にも直面しています。このような課題を解決するために、庄内地域における「魅力ある学校づくり」や（仮称）南部コラボセンターの開設に向けた取組みなど南部地域活性化構想の推進が図られています。

豊中市公共施設等有効活用委員会では、南部地域の学校跡地に関する個別活用計画（素案）に基づき、学校跡地活用を中心に審議しました。

小学校は、コミュニティの核になる場所です。地域コミュニティには、これまでの地域の考え方・理念が精神として宿っています。学校再編では、単に学校跡地のハード面だけを考えるのではなく、このコミュニティの再編や発展のあり方をも考えることです。そのため、ハード面とソフト面の両面で、意見交換を行いました。

南部地域の学校跡地に関する個別活用計画の策定にあたっては、当委員会の意見を十分に踏まえて検討していただくことをお願いするものであります。

令和 3 年（2021 年）1 月 18 日  
豊中市公共施設等有効活用委員会  
会長 木多 道宏

## Ⅱ. 南部地域の学校跡地に関する個別活用計画(素案)への意見

南部地域の特性の一つに、交通利便性の良いまちであることがあげられます。この交通利便性と各エリアが有するポテンシャルを掛け合わせることで、より魅力的なまちとなります。また、南部地域は、平坦な土地であることから、身体に負担をかけない優しいまちである。また、自然形成された路地的な空間や路面店舗も多く、居心地が良く歩きやすいまちであるため、今後は、さらに人々が集い、憩い、多様な活動が行われるウォークアブルなまちづくりが大切である。

当委員会は、特に上記のような特性を十分に活かし、まちの活性化に資する内容となっているか、ICTやSDGsなど時代の要請を踏まえているかなどの視点で審議し、以下の通り取りまとめましたので、意見として申し述べます。

### ◆全体

1	今後のデジタル化の進展により、ICT 技術を活用した取組みは切り離すことができない。ICTについては、全体を包含するように示す必要がある。また、今後 ICT を活用したコミュニケーションが進展していく一方、情報弱者への配慮も必要である。
2	これからの時代においては、SDGs・“誰一人取り残さない”の視点も重要である。南部地域の学校跡地活用においても考慮する必要がある。

### ◆個別活用計画の役目と実現すること(P6)

1	南部地域がめざす「固有の要素がまちの魅力となり、この魅力を求めて多くの人々が訪れる。またこの要素自体が人を育み、まちへの愛着を持つ人を増やす。」は、国も力を入れて進めている関係人口の考え方である。南部地域は、関係人口の考え方と親和性が良いので、“関係人口”と記載して、位置付けた方がよい。
---	--

### ◆学校跡地活用について(P7~11)

1	音楽・ものづくり・スポーツ・食の要素は個別単体ではなく、掛け合わせることも重要である。
2	豊中市学校跡地の利活用方針に基づく step 1 の「防災、地域活動、公共目的として利用するスペースを整理したうえで 民間活力の導入など幅広い可能性を視野に入れた利活用方策の検討を行います」について、個別活用計画でも記載した方がよい。

3	学校跡地は、多様な人々が関わりを持ち、楽しめ、学べるコンテンツが必要である。また、南部地域のまち全体で暮らしている人が学び続けることができるコンテンツが必要である。素案についても“あらゆる人”という言葉より“多様な人”という言葉の方が望ましい。
4	まちの要素のコンテンツについては、e-スポーツや食 lab など ICT と関連付けた例示も必要である。
5	子どもたちが地域社会で生きる資質や能力を育む総合的な学習内容を学校ごとに調べ、その地域の特性や特性同士を融合させるヒントを見つけてはいかがか。

◆学校跡地活用の前提条件について(P12～14)

1	建物や土地の状況といったハード面だけでなく、跡地を活用して何を実現したいのか等のソフト面をあわせた両方の視点を示す必要がある。
2	共同利用施設という名前では、地域コミュニティの拠点という位置づけが伝わらない。上記1の観点から、表現・内容を工夫する必要がある。
3	定期借地権の期間が20年は事業者にとっては短いことも想定されるので、その点も踏まえてサウンディング型市場調査をした方が良い。

※項目の後についているページ番号は、【参考資料】南部地域の学校跡地に関する個別活用計画(素案)のページ番号です。

### Ⅲ. 審議経過・審議会委員

#### ◆ 審議結果

(令和元年(2019年)6月から令和2年(2020年)10月)

回	開催日	内容
令和元年度第1回 公共施設等有効活用委員会	令和元年(2019年) 6月10日(月)	・南部地域活性化基本計画について ・市民提案募集について
令和元年度第2回 公共施設等有効活用委員会	令和元年(2019年) 12月3日(火)	・南部地域活性化基本計画について ・地域・事業者からのご意見と今後のスケジュール

(令和2年(2020年)11月から令和2年(2020年)12月)

回	開催日	内容
令和2年度第2回 公共施設等有効活用委員会	令和2年(2020年) 11月4日(水)	・昨年度のふりかえりについて ・南部地域活性化基本計画について ・地域コミュニティ施設について
令和2年度第3回 公共施設等有効活用委員会	令和2年(2020年) 12月9日(水)	南部地域の学校跡地に関する個別活用計画(素案)の審議
令和2年度第4回 公共施設等有効活用委員会	令和2年(2020年) 12月23日(水)	・南部地域の学校跡地に関する個別活用計画(素案)の審議 ・答申案について

◆委員名簿

(令和元年(2019年)6月から令和2年(2020年)10月)

	選任区分	氏名
1	学識経験者	◎木多 道宏
2		佐野 こずえ
3		深澤 俊男
4		吉村 直樹
5		○和田 聡子
6	公募市民	小泉 海斗

委員長◎・職務代理○ (区分・五十音順、敬称略)

(令和2年(2020年)11月から令和2年(2020年)12月)

	選任区分	氏名
1	学識経験者	◎木多 道宏
2		佐野 こずえ
3		深澤 俊男
4		吉村 直樹
5		○和田 聡子
6	公募市民	勝原 小夜里

委員長◎・職務代理○ (区分・五十音順、敬称略)